

# 小清水町ヒグマゾーニング計画

令和8年3月

小清水町

## 1. はじめに

近年、小清水町内においてヒグマの目撃情報が相次いでおり、その出没地点は従来の森林地帯に留まらず、市街地周辺や農地へと拡大の傾向を見せている。これに伴い、地域住民の安全確保および農作物の被害防止を最優先課題とし、地域の特性に即した実効性の高い対応体制の構築が急務となっている。町内におけるヒグマの生息実態と人間活動の動態を精査した上で、町域を適切に区分した「ゾーニングマップ」および「リスクマップ」を作成し、今後の出没対応や予防策を円滑に実施するための指針を得るため、計画を定めることとした。

## 2. 各ゾーンの定義・対応方針

表1のとおり

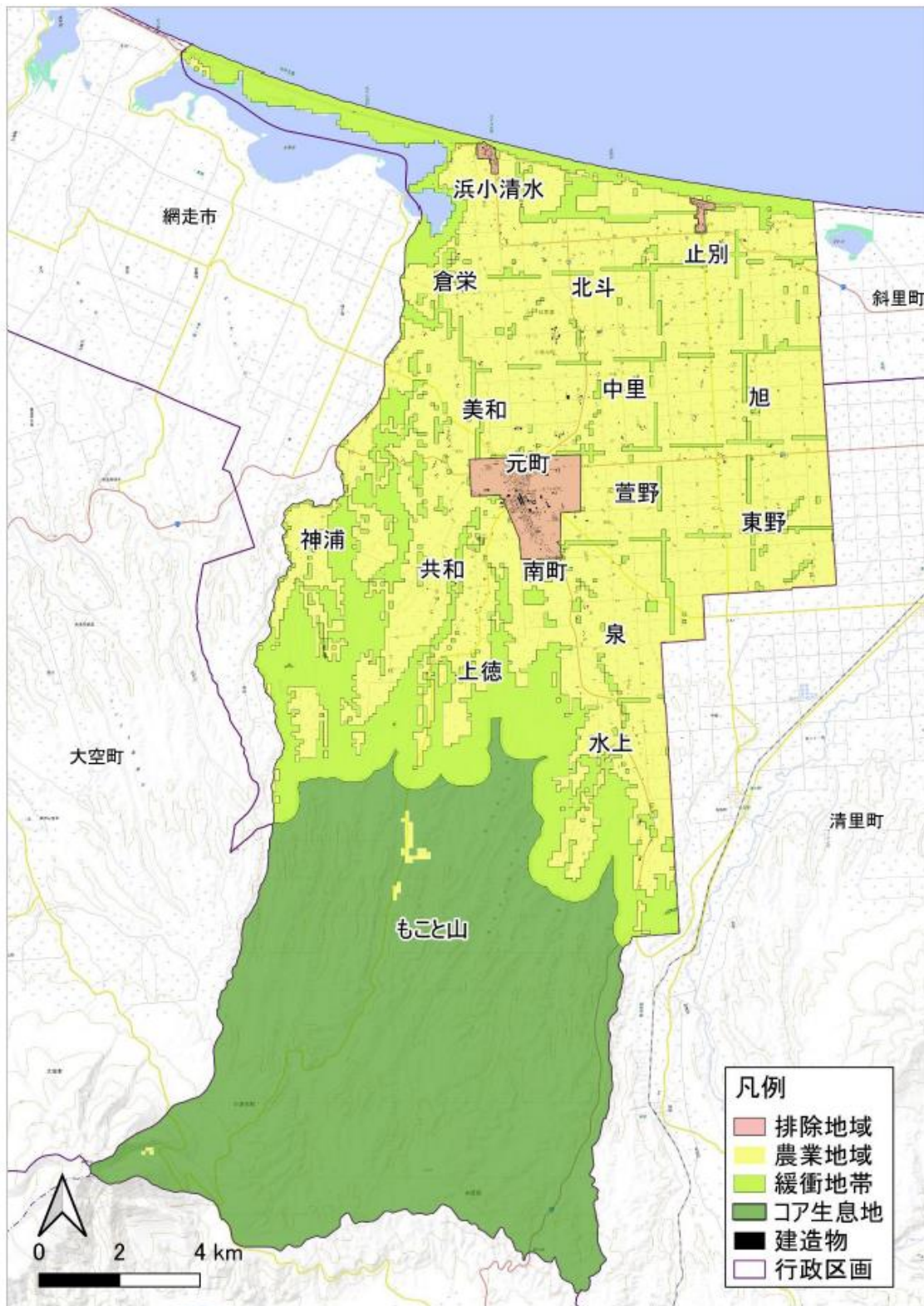
〈表1：各ゾーンの定義・対応方針〉

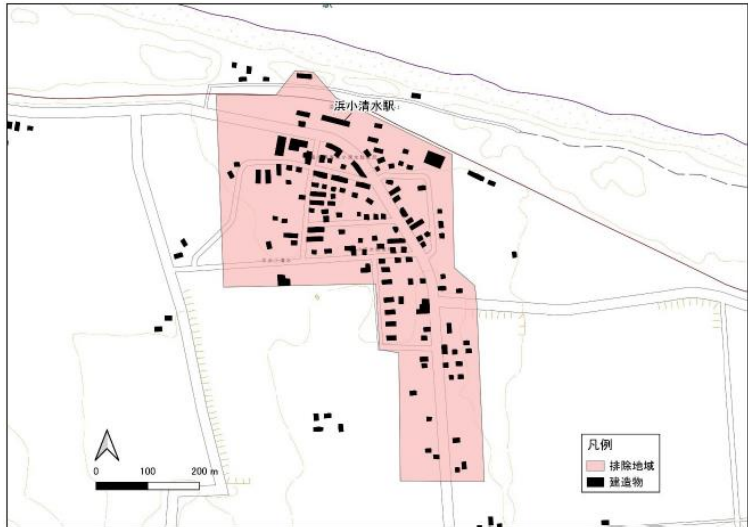
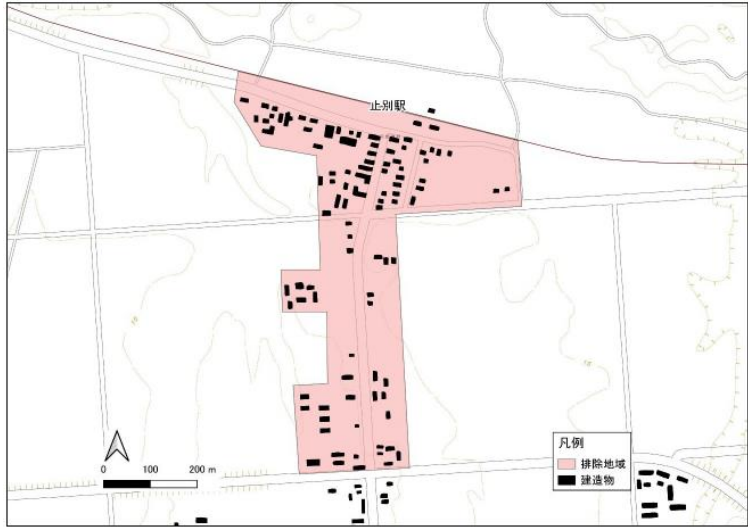
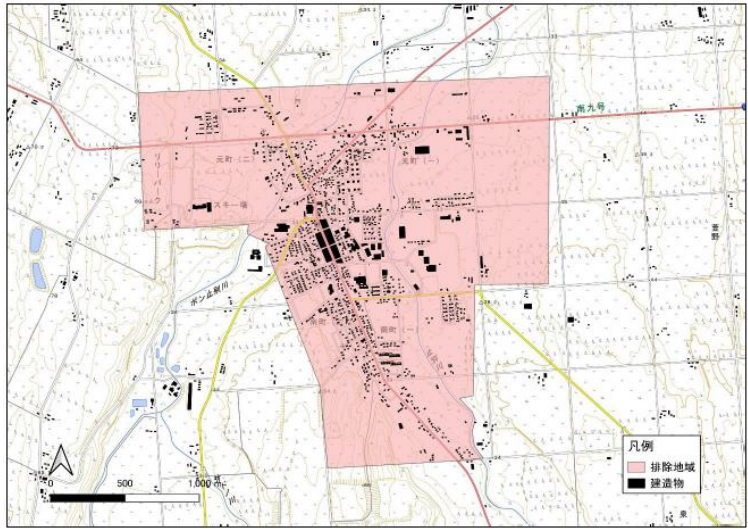
ゾーン	コア生息地	緩衝地帯	農業地域	排除地域
エリア概要	健全な個体群の維持を担保するうえで重要な奥山等の地域	物理的又は心理的に人とクマ類の空間的・時間的すみ分けを図る地域	農林水産業が盛んな地域	市街地や住宅密集地など、人の居住地で人間の安全が最優先される地域
ヒグマの定着	許容する	一部許容する	許容しない	許容しない
ヒグマの侵入	—	抑制する	防止する	許容しない
人間活動	ヒグマの存在を前提とした利用	ヒグマの存在を前提とした利用	日常的な利用	日常かつ高密度な利用
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題個体以外の捕獲は行わない</li> <li>・生息環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害性を認める個体は捕獲</li> <li>・農業地域及び排除地域への侵入抑制</li> <li>・伐採や草刈り等の生息環境管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲を基本とした対応</li> <li>・電気柵設置等の侵入抑制</li> <li>・伐採等の生息環境管理</li> <li>・定期的な巡回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲を基本とした対応</li> <li>・市街地への侵入防止</li> </ul>
(共通) 出没情報の収集・発信 ※発信は行動段階1以上(別紙のとおり)				

3. ゾーニングマップ・リスクマップ

図1、図2のとおり

〈図1：ゾーニングマップ〉





〈図2：リスクマップ〉

